## 平成 23 年度 事務事業事後評価調書 (平成 22 年度事業)

整理番号 2 - 10

## 1 事務事業の表示

1 事務事業の表示							:該当					
事	務事業名	地域政策研究支援事業										
	価 者	担当課名	3	財務企画課			担当係名			企画調整係		
評		管理職	職名		課長		作成者		職名	係長		
			氏名		原 正	,			澤田朋朗			
事	業の概要	地方分権の進展により、国と対等・協力の関係となり、機関委任事務の廃止に伴い自治事務の範囲が拡大されております。 地方の条例制定権の拡大、権限の移譲など地方を取り巻〈環境は大き〈変化しており、法令等の的確な解釈・政策立案能力の向上のため、組織横断型のワーキングチームによる調査・表の他研究により円滑かつ計画的な行政を推進する方策として必要な事業である										
実	施方法	直営			民間委詢	£		その	他 (			)
	第5期総合	計画(前	期)	<mark>)</mark> 登		Ě		非登載	事業	優先度		В
		政策目	標	5	ささえあ	い雄武	忧~ 括	協働によ	るまちて	づくりの推	進	
		基本が	策	24	効果的・効率的な行政経営							
事	業の位置付け	単 位 旅	策	1	計画行政の推進							
		事務事業の	事務事業の種類			自治事務 法定受託事務			i			
		その他計画・根拠等										
	実施年度	20年度(実績	-,	1年度(実績)		22年	度(3		23年度	<b>E</b> (見込)	24年	度(計画)
事業費	国·道支出金	千月		千月			千円			千円		千円
	地 方 債 その他財源	千F 千F			千円		千円 千円		千円		千円	
	雄武町負担額 (一般財源)	千月		千円			千円				千円	
	合 計	千F	9	千円			千円			千円 千円		

## 2 事務事業の目的·内容(Plan·Do)

【誰、何が(対象)】	町	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理 論上の成果指標)				
【抱える課題や ニーズは】	地方分権の進展に伴い必要とされる、基 礎自治体職員の資質向上、政策立案能	ワーキングチームの設置数、調査・研究成果数				
\lai	力の向上	指標(指標計算式/解説) 目標値及び実績値				
	住民に身近で的確な政策展開による住 民サービスの向上	ワーキングチームの 設置数 22年度 22年度				
【どのような状態 になることを目指		目標値     1				
したのか(意図)		<mark>実 績 値</mark> 1				
		達成度 100.0 %				
【その結果、どの	住民に身近で的確な政策展開による住 民サービスの向上、住民の満足度の向 上	調査・研究成果数/ 目標年度 22年度				
ような成果を実現		査事業・日の出岬未 目標値 2				
したいか】 成果 = 目的		開発区域整備調査 実績値 0				
/戏来 - 白山		達成度 0%				
内容(どのような手段で何を行ったか)						
ワーキングチーム の設置	ワーキングチームで検討すべき項目の論点整理及び検討会議開催(5月31日現在~2回開催) 癒しのエリア振興調査事業・日の出岬未開発区域整備調査事業とリンク					

2	事務事業の	垭(冊 (	C h	مام	٠١
	<b>33</b> /7/33-35-17/1	<del>24-</del> 11111 (	L II	<b>.</b>	

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業 を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

	を実力	他しない場合の支煙	章、既存事務事業との機能重複や	見直しによる対心可能性)			
必要	_		地方分権の進展により、国と対等・協力の関係となり、機関委任事務の廃止に伴い自治事務の範囲が拡大されております。地方の条例制定権の拡大、権限の移譲など地方を取り巻〈環境は大き〈変				
必要/概ね必要/ 課題あり		全部 一部	化しており、法令等の的確な解釈 れ、行政が担う必要がある	・政策立案能力の向上が期待さ			
(2)事務事業の有効	性(期行	寺する効果が得られ	<b>いたか</b> )				
課題あり	状況   達	た目標値の達成 成 ぼ達成	ワーキングチームで検討すべき項目の論点に基づいて会議を 開催し検討中であるが、検討完了・報告に至っていないため、課 題ありと判断する				
課題あり	下回る						
(3)事務事業の効率	性(コス	トに見合った効果	が得られたか、計画上のコストを	下げる工夫をしたか)			
効率的 効率的/概ね効率 的/課題あり	事 ——事 ————————————————————————————————	判断の理由 業費抑制 員削減 問題縮・作業軽減	民間へのアウトソーシングによるものではな〈、財源充当を伴わないため事業費の抑制が図られており、効率的である				
(4)事務事業の公平		<u>の他</u>					
公平/概ね公平/公平でない	受受受受	判断の理由 益者負担がある 益者負担がない 益が一部に偏る の他	町の施策はすべての町民に恩恵を与えるものと判断し、調査・研 究項目も多岐に渡ることから、公平であると判断する				
4 総合評価【A ~ D】 A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等							
自己評	価(一次	又評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)			
	C						
ワーキングチームで 基づいて会議を開催 完了・報告には至っ	€し検討	中であるが、検討					
<mark>今後の展開方</mark> [ (Action)	1						
継続/	/ 現 に	<b>犬維持</b>					
次年度において、事 現させる							
*展開方向の区分 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止							
5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)							